

市川市立 南行徳小学校学校だより



南行通信

～やさしさいっぱい 夢いっぱい 元気いっぱい

南行徳小学校ホームページ <https://ichikawa-school.ed.jp/sgyoutoku-sho/>

市川市立南行徳小学校

令和6年7月3日

校長 中村 由美子

7月になりました。

7月1日の給食に「たこめし」が出ました。夏至から数えて11日目頃からの5日間の時期を「半夏生」といい、関西地方では「タコの吸盤のように大地にしっかり根付き稲が実るよう」との願いをこめ、タコを神様にお供えしたところから、タコを食べることが多くなったそうです。子供たちは、ご飯の中にある「タコだー」と拾いながら楽しそうに食べていました。6月は食育月間でした。6月の給食には、入梅献立として「梅ご飯」、千葉県産の肉や野菜を使った県民の日献立などがありました。7月の給食も七夕献立やトウモロコシの皮むき体験があります。「トウモロコシにたくさんひげがあってびっくり」「ひげはふかふかしていて気持ちいい」「初めてトウモロコシの皮を見た」などロケに話しながら、一生懸命皮むき作業をしていました。



給食を通して、子供たちに季節や「旬」を感じたり、地域の食文化に興味を持ったり、様々な食を経験させたいと思っています。

進級してから3か月がたち、夏休み前のまとめの時期を迎えています。先日は、学校評価へのご協力、また、運動会やオープンスクールでのご感想を寄せていただきありがとうございました。いただいたご意見を今後の教育活動へ反映させていただきます。

お世話になっています、みなみっ子サポーター。

南行徳小学校には、「みなみっ子サポーター」という子供たちと教職員の強い味方がいます。家庭科のソーイングやミシン縫い、学区探検の付き添い、授業の丸付けサポート、業間や昼休みの見守り、清掃サポートなど様々なところでサポーターの皆さんに助けていただいています。7月1日からは「みなみっこくらぶ」が始まりました。月曜日の放課後、3・4年生の希望者に算数の個別学習を行っています。夏休みにも行う予定です。様々な人とのかかわりは、子供たちの心を豊かにしていくと考えます。多くの人に支えられている南行徳小学校です。



第1回学校運営協議会

6月22日(土)第1回学校運営協議会を行いました。令和6年度の学校経営方針について委員の皆さんに説明いたしました。「正解のない問いへ最適解を導き出す力」「多様性を認めながら自分は自分でいいと思える心」「自分の体を大切にする力」を育てていきたいと、学校経営の柱を伝えたところ、委員の皆様にご承認をいただきました。委員の皆様のお知恵とお力を借りながら、教育活動を進めてまいります。

